

平成26年度 新発田市社会科部 活動報告

部長 佐藤 健

1 研究主題 資料を効果的に活用した思考力・判断力・表現力を高める授業の在り方

2 研究の概要

4月10日(木) 第1回専門部会 役員選出、研究テーマ決定、活動計画立案

6月6日(金) 第2回専門部会 講演会(会場:住吉小学校)

「思考力、判断力、表現力を高める社会科の授業づくりについて」

講師:新潟市教育委員会教育政策監 伊藤 充 様

10月31日(金) 第3回専門部会 授業研修(会場:猿橋小学校)

4年社会科「水はどこから」

授業者 猿橋小学校 菊地 康裕 教諭

指導者 外ヶ輪小学校 校長 坂井 智 様

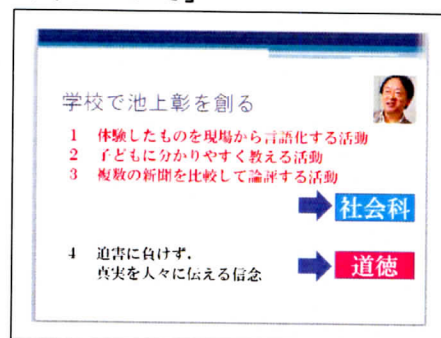
3 研究の実際

(1) 講演「思考力・判断力・表現力を高める社会科の授業づくりについて」

ジャーナリスト池上彰氏の足跡(ターニングポイント)を追うことを通して、社会科の授業づくりに大切な3つの要素を教えていただいた。

- 1 体験したことを言語化する
- 2 分かりやすく教える
- 3 複数の事象を比較し論評する

また、3年生のスーパーマーケットの見学を例に、「具体」と「見なし」を連続して結びつける発問や視点を定めて具体的に検討させる話し合い等、1つ1つに込められた思考力を高める手立てについて解説していただいた。確かな実践に裏付けられたお話から、社会科の授業づくりの神髄を学ぶことができた。



(2) 授業研修 4年社会科「水はどこから」

授業導入で、浄水場を見学したときの職員の話を想起させながら浄水場ではたらく人はどんな水を届けるために努力しているかを考えさせた。その後、見学カードをもとに根拠を話し合わせながら、見学で得た知識を再構成させた。またその話し合いの中で新たな事実を示す資料を段階的に提示し、はたらく人の工夫や努力を補完した。授業の終末では、見学でお世話になった職員に手紙を書き、学んだことを自分の言葉で表現させた。

指導者の坂井智様からは、思考力を高めるためには事実から得た新たな認識を言語表現させること、また日頃から授業者が目指している授業像や授業の山場を明確にして指導にあたることの大切さを指導いただいた。



4 成果と課題

社会科における思考力とは何か、思考力を高めた姿とはどのような姿かを6月の講演会で学び、11月の授業研修を通してその具体を子どもの姿を通して協議することができた。今後も、社会科における思考力・判断力・表現力を高める授業の在り方を探っていきたい。